



平成27年4月3日

各位

会社名 株式会社コジマ  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 一義  
 (コード番号 7513 東証第一部)  
 問合せ先 取締役執行役員経営企画本部長  
 荒川 忠士  
 TEL 03-6907-3114  
 当社の親会社 株式会社ビックカメラ  
 代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸  
 (コード番号 3048 東証第一部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年10月9日に公表いたしました平成27年8月期(平成26年9月1日～平成27年8月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## (1) 業績予想の修正について

平成27年8月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

|                                   | 売上高            | 営業利益       | 経常利益       | 四半期純利益   | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|-----------------------------------|----------------|------------|------------|----------|-----------------|
| 前回発表予想(A)                         | 百万円<br>123,000 | 百万円<br>840 | 百万円<br>100 | 百万円<br>0 | 円 銭<br>0.00     |
| 今回修正予想(B)                         | 110,000        | △210       | △770       | △930     | △11.94          |
| 増減額(B-A)                          | △13,000        | △1,050     | △870       | △930     |                 |
| 増減率(%)                            | △10.6          | —          | —          | —        |                 |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成26年8月期第2四半期) | 126,318        | △1,480     | 833        | 211      | 2.72            |

当社は、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、(ご参考)前期第2四半期実績(平成26年8月期第2四半期)の経営成績は個別業績を記載しております。

## (2) 業績予想の修正について

平成27年8月期通期業績予想数値の修正(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

|                           | 売上高            | 営業利益         | 経常利益         | 当期純利益        | 1株当たり<br>当期純利益 |
|---------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想(A)                 | 百万円<br>254,000 | 百万円<br>4,500 | 百万円<br>3,500 | 百万円<br>2,100 | 円 銭<br>27.39   |
| 今回修正予想(B)                 | 236,000        | 3,000        | 2,100        | 440          | 5.65           |
| 増減額(B-A)                  | △18,000        | △1,500       | △1,400       | △1,660       |                |
| 増減率(%)                    | △7.1           | △33.3        | △40.0        | △79.0        |                |
| (ご参考)前期個別実績<br>(平成26年8月期) | 262,216        | 2,421        | 5,699        | 1,042        | 13.37          |

当社の商品の評価方法は、従来、総平均法によっておりましたが、平成 27 年 8 月期第 1 四半期会計期間より、移動平均法に変更しております。

この変更は、親会社であるビックカメラとリベートを含めた商品の粗利益の管理方法を統一し、より正確な商品金額及び期間損益の計算を実現することを目的として、新会計システムに移行したことに伴うものであります。なお、(ご参考) 前期個別実績 (平成 26 年 8 月期) につきましては遡及適用後の数値となっております。

### (3) 修正の理由

第 2 四半期累計期間の業績予想につきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの回復が遅れたことから、売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。利益面につきましては、ビックカメラとの仕入統合効果等による売上総利益率の上昇に加え、不採算店舗の閉鎖による抜本的な経費削減にも努めましたが、売上減少に伴う売上総利益の減少分を補いきれず、営業利益は前年比で約 12 億円改善しているものの、営業利益、経常利益、四半期純利益において前回予想を下回る見通しとなりました。

上記の理由から、通期の業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。なお、当期純利益につきましては、平成 27 年度税制改正に伴う法人税率の引き下げや欠損金の繰越控除制度の見直しにより、繰延税金資産の一部取崩しが生じる影響を含んでおります。

(注) 本資料の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、今後さまざまな要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上